



2026年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月30日

上場会社名 東亜合成株式会社

上場取引所

東

コード番号 4045

URL <https://www.toagosei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長COO

(氏名) 小淵 秀範

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長

(氏名) 堤 慎吾

TEL 03-3597-7215

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第3四半期	125,461	4.7	11,787	11.1	12,098	8.5	8,927	11.6
2025年12月期第3四半期	119,863	△2.8	10,607	△1.4	11,149	△8.2	8,002	△23.8

(注) 包括利益 2026年12月期第3四半期 14,769百万円(54.7%) 2025年12月期第3四半期 9,549百万円(△13.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	84.05	—
2025年12月期第3四半期	72.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第3四半期	297,229	220,500	73.8
2025年12月期	289,105	215,944	74.3

(参考) 自己資本 2026年12月期第3四半期 219,316百万円 2025年12月期 214,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	32.50	—	32.50	65.00
2026年12月期	—	36.00	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	—	—	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	170,000	4.7	15,500	9.3	16,300	8.2	11,800	△7.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期3Q	108,000,000株	2025年12月期	108,000,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期3Q	2,286,914株	2025年12月期	714,199株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期3Q	106,217,169株	2025年12月期3Q	109,639,824株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数（四半期累計）の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付信託が保有する当社株式が含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想には、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づく予想が含まれております。実際の業績は、今後様々な変動要因により、上記数値と異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項は、第3四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 研究開発活動	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

(ア) 当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間（2026年1月1日から2026年9月30日まで）における世界経済は、AI関連分野への投資などが経済活動を下支えしたものの、中東情勢を巡る地政学リスクの長期化により、先行きに対する不透明感が続きました。また、物価高が継続するとともに、AIの急速な進展に伴う社会や産業への影響に対する懸念が高まりました。加えて、原油・ナフサ市況が大きく変動し、エネルギー供給への懸念が払拭されないなど、世界経済を取り巻く環境は予断を許さない状況で推移しました。

わが国経済においては、賃上げの広がりや設備投資の動きがみられたものの、物価上昇の影響に加え、為替相場の変動や原材料価格の先行きに対する懸念などから、景気の先行きは見通しにくい状況が続きました。

このような状況下、当社グループは、引き続き、注力分野における販売拡大、採算是正および生産効率化などに取り組んでまいりました。その結果、売上高は1,254億6千1百万円（前年同期比4.7%増収）、営業利益は117億8千7百万円（前年同期比11.1%増益）、経常利益は120億9千8百万円（前年同期比8.5%増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は89億2千7百万円（前年同期比11.6%増益）となりました。

(イ) セグメント別の業績

①基幹化学品事業

電解製品は、販売数量の増加により、増収となりました。アクリルモノマーは、中東情勢の影響により第2四半期までの原料調達に制約が生じたことや一部製品の販売終了により、販売数量が減少したことから、減収となりました。工業用ガスは、販売数量が増加したことにより、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は521億4千4百万円（前年同期比2.2%減収）となりました。

営業利益は、アクリルモノマーの販売数量の減少に加え、大型定期修理に伴う費用が増加したことから、50億2千5百万円（前年同期比25.3%減益）となりました。

②ポリマー・オリゴマー事業

アクリルポリマーは、モビリティ向け、医薬・化粧品向けおよび半導体向けの販売数量が増加したことに加え、採算是正が寄与したことから、増収となりました。アクリルオリゴマーは、電子材料向けの販売数量の増加に加え、コスト上昇に対応した価格是正により、増収となりました。高分子凝集剤は、販売数量が減少したものの、採算是正により、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は299億7百万円（前年同期比12.4%増収）となりました。

営業利益は、アクリルポリマーおよびアクリルオリゴマーの販売数量の増加や採算是正などにより、35億5千万円（前年同期比60.7%増益）となりました。

③接着材料事業

家庭用は、米国における販売価格の改定により、増収となりました。機能性接着剤は、モビリティ向けおよびスマートフォン向けの販売が引き続き堅調に推移したことから、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は110億2千6百万円（前年同期比9.7%増収）となりました。

営業利益は、機能性接着剤の販売数量の増加などにより、4億2千2百万円（前年同期比95.4%増益）となりました。

④高機能材料事業

高純度無機化学品は、半導体向け製品の需要が引き続き好調に推移し、販売数量が増加したことから、増収となりました。無機機能材料は、無機抗菌剤の販売数量が減少したことから、減収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は86億6千1百万円（前年同期比16.5%増収）となりました。

営業利益は、高純度無機化学品の販売数量の増加などにより、14億2千万円（前年同期比91.7%増益）となりました。

⑤樹脂加工製品事業

環境インフラシステムは、老朽化対策製品の販売拡大などにより、増収となりました。ライフサポートは、入浴介護用品などの販売数量が減少したことから、減収となりました。エコマテリアルは、東南アジアでの販売が拡大したことから、増収となりました。これらの結果、当セグメントの売上高は220億4千2百万円（前年同期比6.5%増収）となりました。

営業利益は、環境インフラシステムおよびエコマテリアルにおける販売拡大などにより、29億6百万円（前年同期比47.1%増益）となりました。

⑥その他の事業

商社事業、輸送事業などにより構成される当セグメントは、輸送事業が減収となったことから、売上高は16億8千万円（前年同期比3.6%減収）となりました。

営業利益は、輸送事業の収益悪化により、3億6千2百万円（前年同期比11.2%減益）となりました。

なお、前第4四半期連結会計期間から「その他」セグメントの区分を変更しています。詳細は「セグメント情報等」をご参照ください。

（2）財政状態に関する説明

資産合計は、「現金及び預金」や「有価証券」などの流動資産が減少したものの、株価上昇により「投資有価証券」が増加したため、前連結会計年度末に比べ81億2千4百万円、2.8%増加し、2,972億2千9百万円となりました。

負債合計は、「コマーシャル・ペーパー」が増加したため、前連結会計年度末に比べ35億6千8百万円、4.9%増加し、767億2千9百万円となりました。

純資産合計は、「その他有価証券評価差額金」が増加したため、前連結会計年度末に比べ45億5千5百万円、2.1%増加し、2,205億円となり、自己資本比率は73.8%となりました。

（3）研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費の総額は52億9千7百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

文中の将来に関する事項は、本資料の発表日現在において、当社グループが判断したものです。

当第3四半期連結累計期間は、半導体関連製品およびポリマー・オリゴマー事業の製品を中心に販売数量が増加したほか、ポリマー・オリゴマー事業および樹脂加工製品事業における販売価格の改定などが利益に寄与しました。第4四半期以降については、原油・ナフサ価格の変動や地政学リスクの継続、為替相場の変動や金利動向などにより、景気の先行きは不透明な状況が続くものと見込んでいます。

このような環境のもと、現時点において想定している事業環境が大きく変化しないとの前提に立ち、7月31日に公表した2026年12月期通期の連結業績予想を据え置きます。なお、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,518	17,882
受取手形及び売掛金	38,003	39,573
電子記録債権	11,554	12,148
有価証券	7,000	—
棚卸資産	25,469	29,472
その他	4,061	6,196
貸倒引当金	△51	△52
流動資産合計	110,556	105,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	40,939	40,747
機械装置及び運搬具（純額）	24,259	25,870
土地	33,215	31,976
その他（純額）	30,635	33,140
有形固定資産合計	129,050	131,734
無形固定資産	4,723	6,726
投資その他の資産		
投資有価証券	36,029	44,071
退職給付に係る資産	6,013	6,070
その他	2,773	3,448
貸倒引当金	△41	△42
投資その他の資産合計	44,775	53,548
固定資産合計	178,548	192,008
資産合計	289,105	297,229

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,513	18,293
短期借入金	6,865	6,865
コマーシャル・ペーパー	—	5,000
未払法人税等	2,543	853
賞与引当金	4	865
その他	21,451	16,299
流動負債合計	47,376	48,175
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	3,770	3,700
退職給付に係る負債	131	137
株式給付引当金	438	508
その他	11,443	14,207
固定負債合計	25,783	28,553
負債合計	73,160	76,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,886	20,886
資本剰余金	14,166	14,197
利益剰余金	156,396	157,993
自己株式	△957	△3,830
株主資本合計	190,491	189,246
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,635	22,528
為替換算調整勘定	5,933	5,918
退職給付に係る調整累計額	1,747	1,622
その他の包括利益累計額合計	24,316	30,070
非支配株主持分	1,136	1,183
純資産合計	215,944	220,500
負債純資産合計	289,105	297,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
売上高	119,863	125,461
売上原価	85,271	87,682
売上総利益	34,591	37,778
販売費及び一般管理費	23,984	25,991
営業利益	10,607	11,787
営業外収益		
受取利息	179	147
受取配当金	793	893
持分法による投資利益	73	—
固定資産賃貸料	17	36
その他	158	94
営業外収益合計	1,221	1,171
営業外費用		
支払利息	158	265
持分法による投資損失	—	0
投資事業組合運用損	51	135
遅延違約金	—	121
為替差損	170	108
遊休設備費	5	101
環境整備費	199	77
その他	93	48
営業外費用合計	678	860
経常利益	11,149	12,098
特別利益		
固定資産売却益	—	882
補助金収入	47	1,589
投資有価証券売却益	1,477	899
特別利益合計	1,524	3,370
特別損失		
固定資産処分損	1,322	992
圧縮未決算特別勘定繰入額	40	1,584
投資有価証券評価損	182	464
災害による損失	※1 58	※1 29
特別損失合計	1,604	3,071
税金等調整前四半期純利益	11,069	12,398
法人税等	3,007	3,380
四半期純利益	8,062	9,017
非支配株主に帰属する四半期純利益	59	90
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,002	8,927

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
四半期純利益	8,062	9,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,804	5,894
為替換算調整勘定	△211	△18
退職給付に係る調整額	△105	△124
その他の包括利益合計	1,487	5,751
四半期包括利益	9,549	14,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,479	14,681
非支配株主に係る四半期包括利益	69	87

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年2月12日開催の取締役会決議に基づく自己株式1,664,100株の取得などを行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間にて自己株式が2,872百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が3,830百万円となっております。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 災害による損失

2024年1月に発生した能登半島地震の原状回復費用であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費および長期前払費用に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
減価償却費	8,686百万円	9,206百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 材料事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	53,339	26,602	10,051	7,432	20,695	118,120	1,743	119,863	—	119,863
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,703	1,150	29	330	587	4,801	1,244	6,045	△6,045	—
計	56,042	27,753	10,080	7,762	21,282	122,921	2,988	125,909	△6,045	119,863
セグメント利益 または損失 (△)	6,730	2,209	216	741	1,975	11,873	408	12,282	△1,674	10,607

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業、輸送事業等を含んでおります。

2 セグメント利益または損失の調整額は、セグメント間取引消去2百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,677百万円が含まれております。全社費用は、主に特定の報告セグメントに帰属させて管理していない全社共通研究開発費等であります。

3 セグメント利益または損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	基幹化学 品事業	ポリマー・ オリゴマー 事業	接着材料 事業	高機能 材料事業	樹脂加工 製品事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	52,144	29,907	11,026	8,661	22,042	123,780	1,680	125,461	—	125,461
セグメント間の内部 売上高または振替高	2,636	1,111	63	202	753	4,768	1,234	6,003	△6,003	—
計	54,780	31,019	11,089	8,863	22,795	128,549	2,914	131,464	△6,003	125,461
セグメント利益 または損失 (△)	5,025	3,550	422	1,420	2,906	13,325	362	13,688	△1,901	11,787

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業、輸送事業等を含んでおります。

2 セグメント利益または損失の調整額は、セグメント間取引消去6百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,907百万円が含まれております。全社費用は、主に特定の報告セグメントに帰属させて管理していない全社共通研究開発費等であります。

3 セグメント利益または損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(「その他」セグメントの区分変更)

前第4四半期連結会計期間から経営管理区分の見直しを行い、従来「その他」事業に含めていた新規製品の研究開発事業にかかる費用を全社費用としてセグメント利益または損失の調整額に計上しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。